

まちづくり交付金 事後評価シート
天辰第一地区

平成20年12月

鹿児島県薩摩川内市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県		市町村名	薩摩川内市		地区名	天辰第一地区			面積	75.4ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	1,250百万円		国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(街区公園1箇所),高質空間形成施設(カラー舗装),土地区画整理事業										
		提案事業	区画道路整備事業										
	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
提案事業		なし											
新たに追加した事業	基幹事業	なし											
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	居住者数	人	750	H16	900	H20	モニタリング	評価値	680	あり なし	地区内居住者数は減少しているものの、近年改善傾向にある。	H21年5月頃
	指標2	浸水被害対象家屋数	戸	26	H16	5	H20	モニタリング	評価値	5	あり なし	土地区画整理事業による建物移転により、着実に浸水被害対象家屋の解消が図れた。	H22年3月頃
	指標3	公園までの所要時間	分	18	H16	5	H20	モニタリング	評価値	5	あり なし	事業導入前は地区内に公園はなかったが、街区公園整備により公園までの所要時間は短縮され、憩いの空間が創出された。	
	指標4							モニタリング	評価値		あり なし		
	指標5							モニタリング	評価値		あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度 ¹⁾	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	地区内学童率	%	14.8	H16			モニタリング	評価値	16.6		地区内居住者数は減少しているものの、事業による良好な居住環境創出により、少子化は改善されている。	H21年5月頃
	その他の数値指標2							モニタリング	評価値				
	その他の数値指標3							モニタリング	評価値				
4)定性的な効果発現状況	市財源の厳しい中で、まちづくり交付金の国費充当により土地区画整理事業の進展が図れ、新たなまちづくりに大きく貢献した。まちづくり交付金導入により、庁内の職員の横断的な対話の機会や他市町村の事業担当者との対話の機会が増え、職員意識が高揚した。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	土地区画整理審議会、推進委員会との報告会及び説明会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も、審議会・推進委員会との連携を図り、事業推進を図っていく。					
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2 - 2 地区の概要

天辰第一地区(鹿児島県薩摩川内市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
浸水被害の解消を図り、併せて公園等の整備を実施し、交通利便性が高く居住環境良好な新しい市街地の創出	居住者数	単位:人	750	H16	900	H20	680	H20
	浸水被害対象家屋数	単位:戸	26	H16	5	H20	5	H20
	公園までの所要時間	単位:分	18	H16	5	H20	5	H20
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H

The map shows the Tenchi Ichibu area with a red outline. Various project locations are marked with blue and green lines. Surrounding the map are several photographs and labels for related projects:

- 関連事業** 一級河川川内川改修工事 (Photo of a dam)
- 関連事業** 三堂川総合流域防災事業 L=約850m (Photo of a road)
- 提案事業** 区画道路整備事業 W=6.0 L=1200m (Photo of a road)
- 基幹事業** 公園(前水流公園) A=0.2ha (Photo of a park)
- 基幹事業** 土地区画整理事業(天辰第一地区) A=75.4ha (Photo of a road)
- 基幹事業** 高質空間形成施設(カラー舗装) W=6.0m L=500m (Photo of a road with colored pavement)

まちの課題の変化 事業前の主な課題であった浸水被害対象家屋解消、安全で良好な居住環境の早期創出は土地区画整理事業により概ね改善されたが、本地区はまだ事業途中であり、一部課題が解消されていない箇所が存在するため、更なる土地区画整理事業の推進により早急な解消が必要である。また、公園整備により憩いの空間は創出されたものの、維持管理については、住民参画による協力的体制構築が急務である。さらに、宅地造成の進展に伴う定住化促進が課題である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 【住民参画による公共施設の整備計画策定及び維持管理体制の確保】
- ワークショップ等を開催し、住民との対話機会を増やし、官民一体となった公共施設の整備方針策定及び維持管理体制を構築する。
- 【土地区画整理事業の更なる推進による地区内居住者・定住者の促進】
- 憩いの空間となる公園、高質な歩行空間など魅力あるまちづくりを進めるとともに、定住促進制度の活用など地区内居住者及び定住者の増加を図る。
- 【土地区画整理事業の更なる推進による安全安心なまちづくりの推進】
- 安全で良好な居住環境の早期創出を図るとともに、浸水被害を受けない宅地造成及び区画道路整備の更なる推進を図り、浸水被害対象家屋及び狭隘な道路の完全解消を図る。